

Jyoto's

木山愛唯（3 回生） 吉田祐理（2 回生） 柳井麻寿（1 回生）

キーワード：SDGs, グローカル, 学習支援

1. 団体概要

学生団体 Jyoto's は、外国にルーツを持つ子どもたちの学習支援を目的として、2022 年に発足した団体である。現在、15 名の学生が所属している。

Jyoto's の主な活動内容は、①学習教室への参加、②イベントの参加・新規企画の二つである。毎週土曜日に城東町補習教室にボランティアとして参加し、外国にルーツを持つ小学生から中学生までの子どもたちを対象とした学習支援を行っている（写真 1）。学習教室の開催に加えてイベントの開催も行っており、昨年は姫路城周辺のウォークラリーやクリスマス会、キッズニアでの就業体験研修などを実施した（写真 2, 3）。

2. 活動を通して学んだこと

活動を通して、外国にルーツを持つ子どもたちを支援することの大切さ、外国にルーツを持っていて



写真 1 学習教室での活動の様子(2023 年 11 月)



写真 2 クリスマス会での様子(2023 年 12 月)

もいなくても子どもたちの本質は変わらないのだということも学んだ。例えば活動の中で、研修の前と後では子どもたちの意識が異なっており子どもたちにより将来のことについて考えてもらう機会作りができていたのではないかと考える。

また、子どもたちが教室や行事で楽しそうに話したり学習し友だちと遊ぶ姿を見ていると、ルーツが異なっても日本人の子どもたちと何ら変わりはないことを実感する。例えば 12 月に行われたキッズニアでの就業体験研修ではどの子どもたちも嬉しそうに体験を楽しんでいて、私たち自身も改めて実施してよかったと感じた。これからも様々な行事や普段の補習教室を通じて子どもたちが不自由なく楽しく過ごせる居場所作りに励んでいきたいと考える。

3. 活動事例

以上のような想いを胸に、私たちは 2022 年の団体設立以来、学習教室並びにイベントへの参加を行ってきた。そして今年度は初めての試みとして、2023 年 12 月にキッズニアでの就業体験研修を企画、実行した。キッズニアとは、楽しみながら社会の仕組みを学ぶことができる職業・社会体験施設のことである。本研修は、日本でのキャリア形成に関する知識や情報等が十分でない外国にルーツを持つ子どもた



写真 3 キッズニアでの就業体験研修での様子

ちに、日本での職業の幅やその面白さを感じてもらうことを目的に、城東町補習教室に通う小学生18名とともにキッズニア甲子園を訪問した。

その結果、研修の前後で行ったアンケートでは、「働いて給料をもらうやりがいを感じた。」「大学生と回ったのしかった。困ったことがあると教えてくれて助かった。」などの意見が得られた。さらに、研修の参加前後で仕事に対する意識に関する各項目を四段階で表してもらった結果、図1のような結果を得ることができた。

加えて、本研修は子どもたちにとって、集団のルールを守ることへの学習に大きく寄与した。本団体だけでなく一般のお客さんや他団体が多く来場しているなかで、集合場所や時間を厳守すること、初対面の他の参加者と協力して各ミッションを達成すること、さらに各班内でも互いの希望を尊重しながら体験の順序を決めることなど、社会に出て必要なことを学ぶ機会ともなった。実際に研修中には、引率者が体験に参加することはできないため、日本語が

理解できず困っている子どもに対して、班の子どもたちが分かりやすい言葉で説明している場面が見受けられた。このように、本研修を通して、子ども同士の絆が深まっただけでなく、団体メンバーと子どもたちの交流を深める機会ともなった。

4. 今後の展望

今年度の活動を通して気づいたことが二点ある。

①「活動の継続」②「城東町補習教室との連携」である。

①について、今年度は新入生・在学生の勧誘を行い、メンバーの人数も大幅に増加した。昨年度は実施できなかったキッズニアでの就業体験研修も可能となった。今年度実施したイベントの中でもこの企画は、コロナ以前は前城東町補習教室のイベントとして実施しており、子どもたちからの人気も高い企画だ。今回、補習教室からイベントを引き継いだ形の開催となった。Jyoto'sとして実施する就業体験研修は初めてだったため、反省点もあったが無事に成功させることができた。また、今年度は断念せざるを得なかった企画や、うまく子どもたちにお知らせできなかった企画もあるため、来年度は活動を継続させると共に内容もよりレベルアップさせたい。

②について、イベントの企画を通して私たちJyoto'sはイベントの経験値もほとんど無く、城東町補習教室のイベントの中の一枠としての企画や、Jyoto'sとして企画しても補習教室の先生方に頼ってしまう部分が多くあった。来年度は今年度よりも早い段階でイベントについての情報共有や計画を行いたい。そのためには城東町補習教室とより深い連携を行う必要がある。今後とも学生だからできることを実施することを目標に子どもたちの学習支援、楽しい学びの継続のために活動を行いたい。

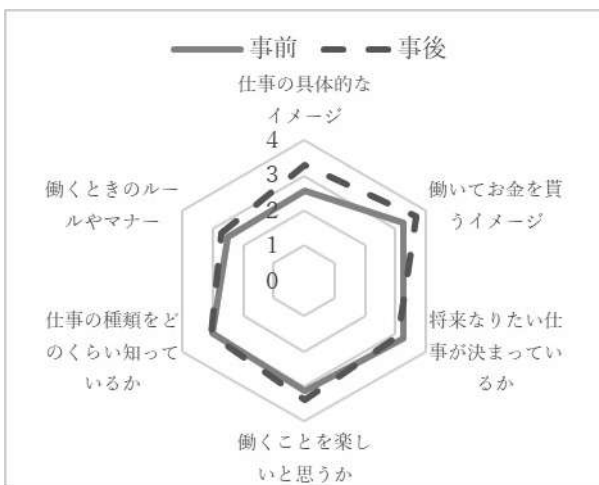


図1 就業体験研修前後の仕事に対する意識変化